

### 仏で世界水フォーラム

第6回世界水フォーラムが12日～17日、フランス・マルセイユのパーク・シャノン国際会議場で開催された。2日目は「水の安全保障と持続可能性」や「気候変動への適応策」、「排水管理」など12の最優先課題をテーマに閣僚会議が行われた。日本の奥田建国土交通副大臣が議長を務めた「水関連災害」の会合では、災害救済にかかる費用の10%を予防に充てる仕組みづくりの必要性などが示された。これらの成果は閣僚宣言としてまとめられ、6月に開催される国連持続可能な開発会議(リオ+20)に提案される。

## 水関連災害など閣僚会議

### エキスポ同時開催 日本の技術アピール

世界水フォーラムと併せて水のエキスポも開催され、各国が企業や団体とともに関連の技術や取り組みを世界にアピールした。日本は「巧み・和み・絆」をテーマに14の企業・団体が産官学連携の取り組みや東日本大震災の復興状況などを情報発信した。

世界水フォーラムは世界最大の水問題に関する国際会議。国連の「世界水の日」に合わせて3年に1度開催されている。今回は15年、韓国で開催される予定。



エキスポ会場で日本の技術や取り組みをPRする「水の天使」の酒井美帆さん(写真提供・吉村和就グローバルウォーター・ジャパン代表)